

東洋羽毛工業(株)CS 推進室課長	佃 光明 様
蔭山(株)商品開発・品質管理担当部長	小島 祥栄 様
日本ふとん製造協同組合専務理事	只野 悟 様
ダイワボウ・ノイ(株)ライフスタイル部長	巽 哲一 様
(株)エビス営業部	米山 幸平 様
(一財)ボーケン品質評価機構開発部課長	坂井 史治 様
西川リビング株式会社ふとん部課長	浜口 貴司 様 (欠席)
*オブザーバー	
(一社)日本寝具寝装品協会専務理事	奥谷 孝良
(一社)日本寝具寝装品協会	中村 富夫 事務局 池田 努

J B A 第 5 期業種別委員会：第五回ふとん部会 議事録

記

1. 開催日時 平成 30 年 12 月 20 日 (火) 10:30～12:30
2. 開催場所 JBA：(一社)日本寝具寝装品協会 日本橋小舟町事務所内
東京都中央区日本橋小舟町7-2 小舟町 243 ビル 7F ☎ 03-6661-0213
3. 議題(1) J B A ラベル「掛けふとん」性能評価について
(2) J - T A S 「ダック」表記の基準について
(3) その他

議題 (1) J B A ラベル「掛けふとん」性能評価について

(結 論)

- ・消費者のための「総合評価」を主題として進めてきたが、各方面からの意見等を考慮し、「掛けふとん性能評価」ラベルの開始を当面延期する。
それに伴い、説明会参加者に延期の連絡を 2019 年初頭に行う予定である。

(状 況)

- ・日羽協理事会において「ゴールドラベルと J B A ラベルの住み分けがはっきりしておらず、運用に支障をきたすことが危惧される。」との意見があった。
- ・睡眠環境学会から「ラベルの表現に修正が妥当と考えられる個所が散見される。また、保温性の評価方法が学会の考え方とは異なっており、学会として独自に保温性試験機の開発を進めている」との意見が出されていた。

(今後の進め方)

- ・日羽協・技術委員会において「総合評価」に向けた討議を進めてもらうように、J B A から依頼する。
- ・睡眠環境学会で進めている保温性試験機の開発については初期段階であるとの情報を踏まえ、学会に対してより詳細な説明と討議を重ねつつ、J B A 表示案の実現に向けて進めていく。

(検討課題)

- ・総合評価の基本となる「生地・詰めもの・キルト」の「キルト」評価を評価項目（例：保温性、吸放湿性など）に分けた方法も含め、様々な検討を進めていく。
- ・合繊ふとんの標準評価を、試験方法の変更も含み検討していく。また、機能性合繊へ

の対処方法（機能性素材である旨のラベル表示など）も併せて検討していく。

- ・ラベル記載の「性能表」を「素材特性表」に変更する。（変更を了承）
- ・「★☆☆」は評価（良い／悪い）に直結するものとして囚われやすいので、他の表現に変更する。（表現方法は今後検討）
- ・説明会で使用した「保温性の早見表」に関して、非現実的な詰めもの重量の製品にも評価（色付け）がされている。空欄（白色）が良いのではないか。⇒修正承認
- ・合繊わたに関して、アクリレート系素材を使用した場合などでも公定水分率を用いた計算式で評価は可能（坂井委員）ではあるが、代表的な製品での確認試験はバックデータとして行う必要がある。

議題（2） J-TAS 「ダック」表記について

- ・ J-TAS 説明会において、「ダック 50% 使用の商品に「ダック」表示を行うことは優良誤認に当たるのでは？」との問い合わせへの対応を検討した。
→消費者庁からの「使用割合を表示することを推奨する。」との回答を受け、ダック表示の基準の変更を日羽協と協議することとした。

議題（3） その他

- ・ J-TAS 入会に関する資料を、12月26日に協会HPに掲載する旨の報告があった。

以上